

都名所圖會

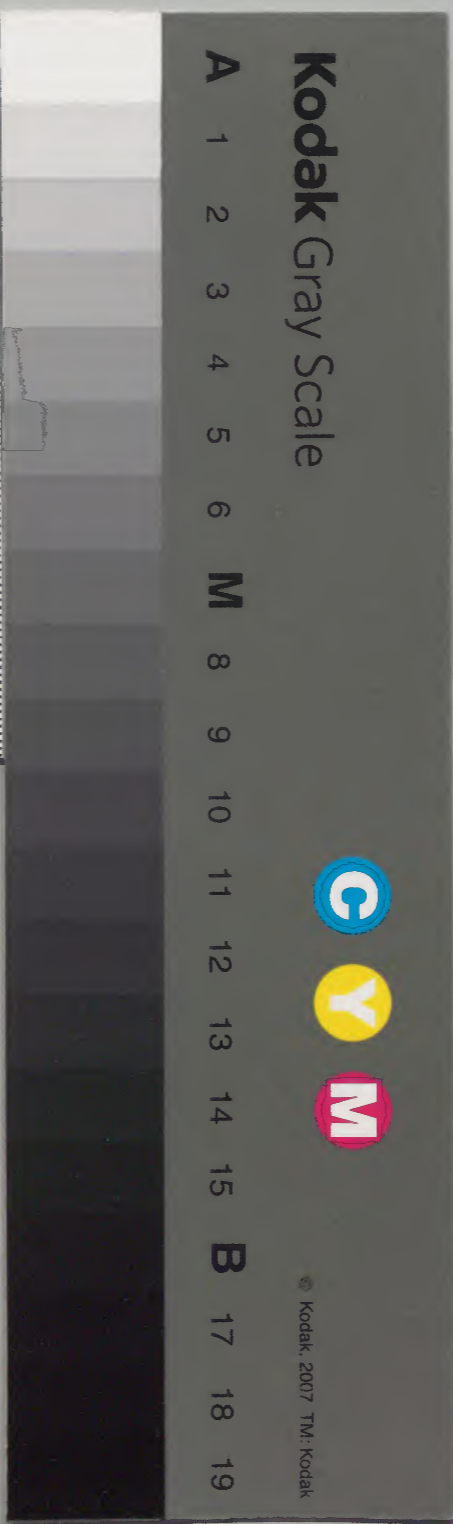
後玄武
再刺

六

						和書門
			八	六	五	
			一	一	九	
			一	三	函	類
			冊	架	號	

庫文閣内			
毛	今		和
三	五		書
函	一	九	
一	一		
四	冊	號	類
架			

内閣文庫	
番號	和 8659
冊數	11 (6)
函號	172 176



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

都名所圖會卷之六目錄

後元武

下加茂

養系之島

岩本社

清蓮庵

行遠上手

北岩倉大雲寺

本長坊社

暗部山

靈源寺

藥師寺

岩門

御手洗川

懸馬圖

松ヶ崎

地藏堂

八塩園

智辨水

ふご抄

帆立石

神光院

燈ヶ峯

光悦寺

河合社

上加茂社

本涌寺

幡枝圓通寺

長谷八幡宮

鞍馬寺

竹伐場

大悲山

正傳寺

法義壇

千束

紀川原涼園

橋本社

妙泉寺

市京小町寺

朗詠谷

僧正谷

貴船社

西加茂

送火船場

源光庵

題目堂

菩提窟

岩屋山

小野道風社

冠石

紫里大徳寺

今宮社

やまのし系

常盤前古跡

義経誕生水

舟岡山

雲林院

蓮臺寺

今宮御旅

金山天王寺

紅梅殿

七の社

清和院

立本寺

焰魔堂

釋迦堂

引接寺

轉法輪寺

七本松

芝居

北野天満宮

内野遊女町

東向觀音

紙屋川

大岡茶湯田地

願成就寺

平野社

等持院

金剛寺

衣笠山

鏡石

妙心寺

芙蓉池

龍安寺

真如寺

西光菴

双園

兼好古跡

法金剛院

西光菴

御室仁和寺

花盛園

大内山

昭徳妙光寺

印金堂

泉谷法藏寺

西壽寺

般若寺

三宝寺

五智如來

宅魔塚

平岡八幡宮

梅畑善妙寺

柵尾専山寺

柵尾西明寺

高雄神護寺

清龍川

地藏院 紅葉新

権の川を
 所を流すの
 一名ふく
 茶屋社の
 うららけ
 細川之
 り無
 風そら
 小川に
 夕暮
 みそね
 三反の
 まり
 ありなり
 事後





子早振
 の
 へ
 松
 代
 色
 けり



下加茂河合社

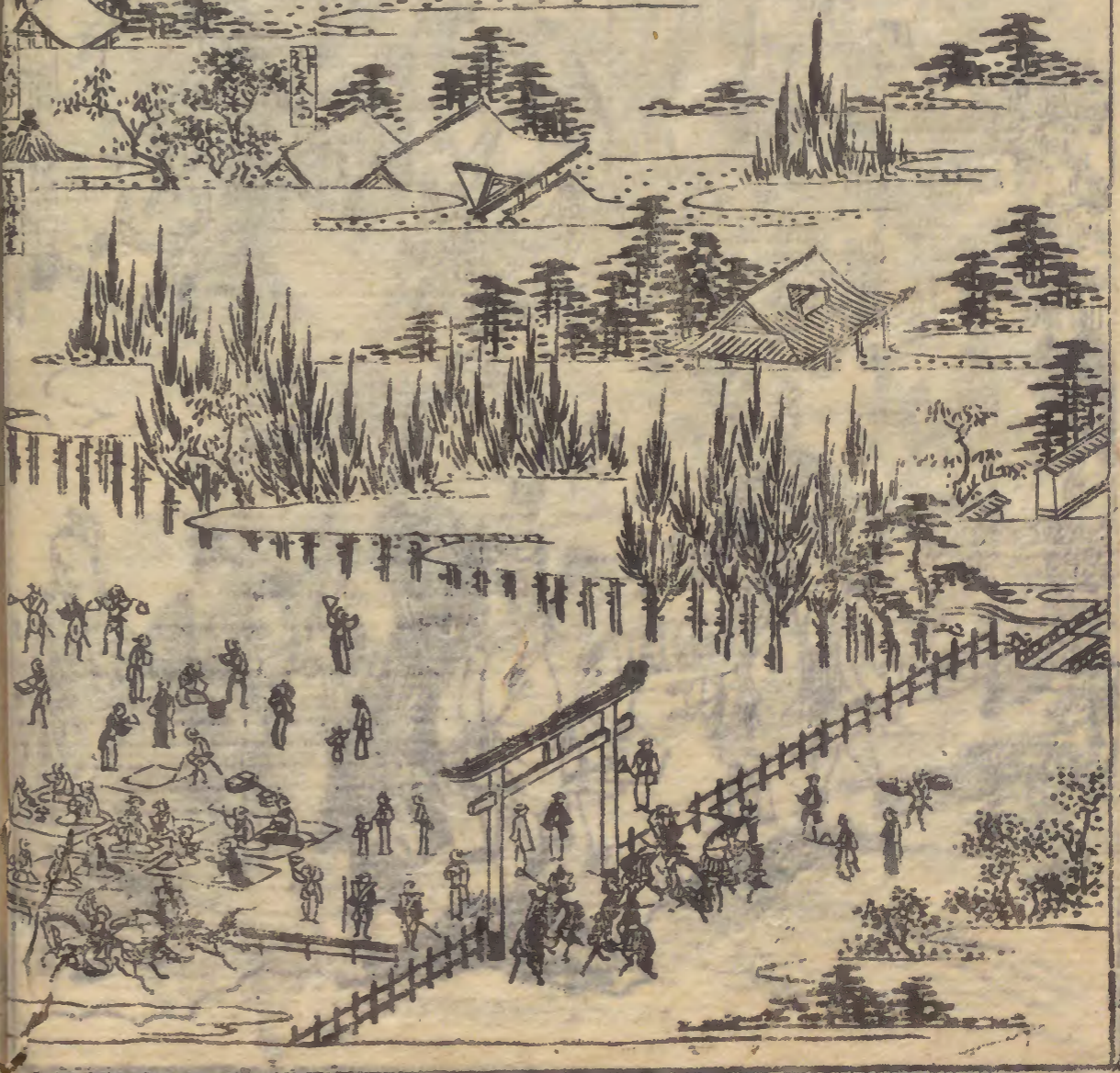
乳
川

三
河

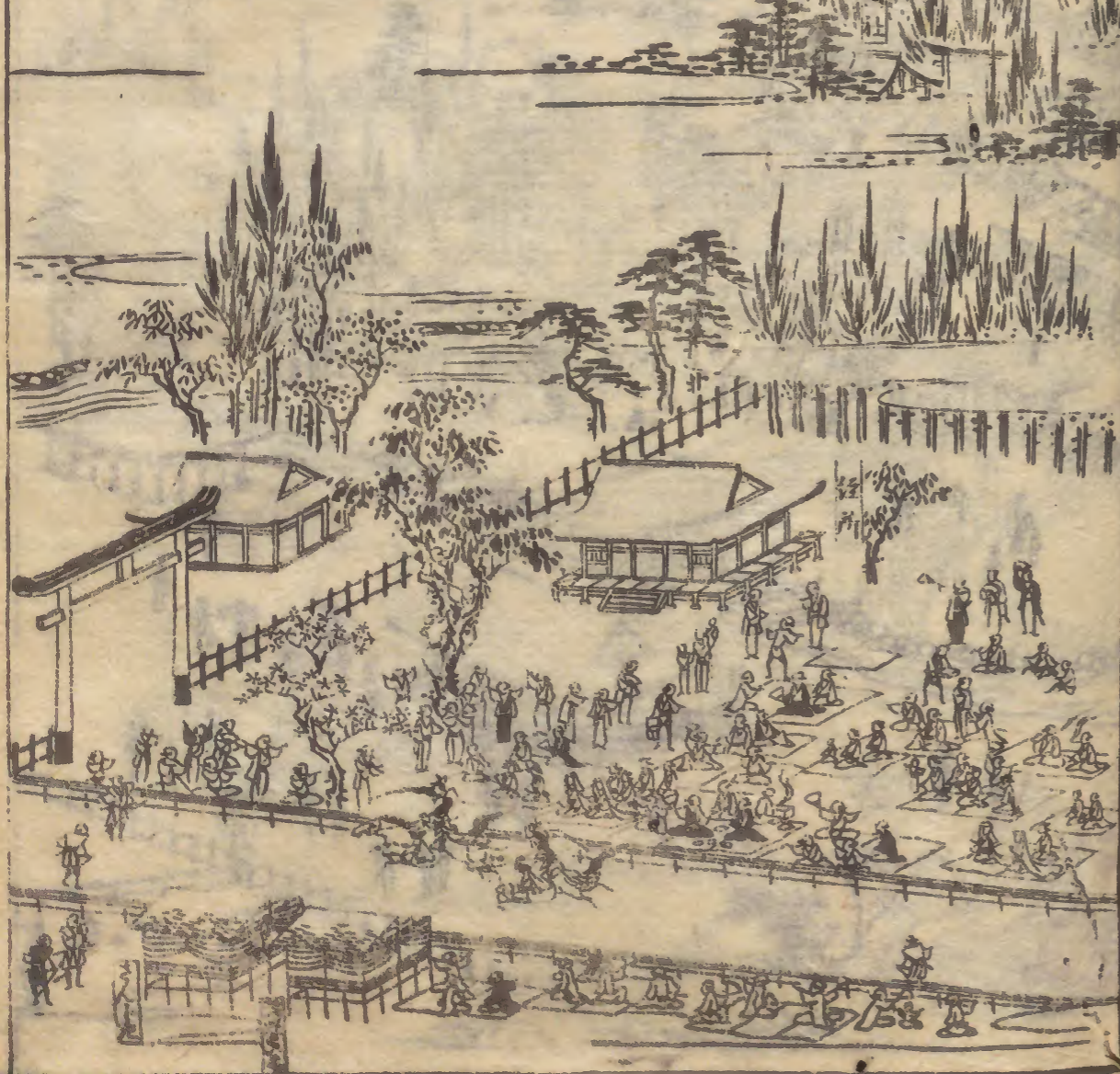
所
經



又月又日の
くまをひ
きつるひ
ひまのど 二十四正
一と月の月を
おくらつとついで
くせでん
懸るのくま
ふまふま
汗くしひ軽い
ありしうり
はけいるのから
まけふうり
はくしいと
まら



あししうり
くまをひ
うまのくま
まゆりの日
は日といふ
又月初日の
あしつうり
それい
おの法師の
うらな
うらな
あまの
おらまの
おらまの
むらあ
うらな



上加茂社



鴨下と云ふ神々の神は天武天皇の御代の造りて下の社神の神は茂

健甕命の御孫玉依姫命と云ふは神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

丹塗の末子と云ふは丹塗命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

卯と云ふは卯神の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

此の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

天の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

天武天皇の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

神代卷の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命の御孫玉依姫命

松ヶ崎



ちよき 畑家

松ヶ崎 ありは

ひれ 井浅

さめ へ

おまへ

こゝろ へ

元



御菩薩池



松崎本涌寺の開基日生上人として日蓮宗流より大正年中に法華園純
 の字堂とするゆゑ泉の日像上人に依りて新しして旧宗なり
 毎来七月十六日堂の主人あては里の老若男女うち京り顔目より地
 ほけ舞踊りしく柏子より踊りわたり是るん松崎の歌目おどろき
 名ふる一其夜より一の山小ねりく妙法の二字と焼火に照し
 會の送火とともなり

所菩薩池の幡枝れありて傍り地蔵堂あり平相園法密の代西亮
 法師といふかみしやう地蔵堂ありの其二なり
 市原の普陀洛寺といふ一清系源喜父の地蔵堂の余一在尚地へ是より
 母堂のくくめて堂の若くは後白川上皇太孫の女院と訪ひては
 所取通り普陀洛寺小所幸のりありのせうり庭に小所小町屋おの
 の墓ありはる人市原野を過りしにとれ一しりけりなり
 秋風の吹りほけてもあかしく小所といふ一為れなり 小所小町

市原小町寺



小石藏大寺の寺に天台宗ありておきかたに世をたてし像あり行基乃れ
 とを採けしものなりぬれ王様の小石蔵小石蔵とこのなるべく所あり流人は
 をあやしむ云よふて勅使とて右近衛中将侍基成はるりてせしめ
 ぬ小石蔵に巖あり勅使不思議小石蔵といふなりとてのりりり
 香成りてたより老尼現れ曰此地のるまに親世香成臨れ地人さ時ふ
 いてふ異香四方に薫りて靈嶽あり是と窺ふるといふも樂と奏りて
 其中より親世香成光明赫々といふる體成相あてけ地小石蔵とて
 ぬいて行基れぬりぬいし尊像成存るとるた大寺をたて頼り詔すつて
 佐理卿を成條さすいりり今寺堂に同基の智多僧ふりり出いふ
 を小石蔵とるなりりり詔ありて王様の四方に石蔵といふるなり
 と納めらる具多りり石座明神なりぬれ是る成れゆゑなり
 八鹽圍のむりゆゆの相成りて秋のころ紅葉とるる男綿と成りり
 あくば今小の尾傍小か一跡



北岩倉大雲寺

八鹽園



三才
岩

海

の

長谷川

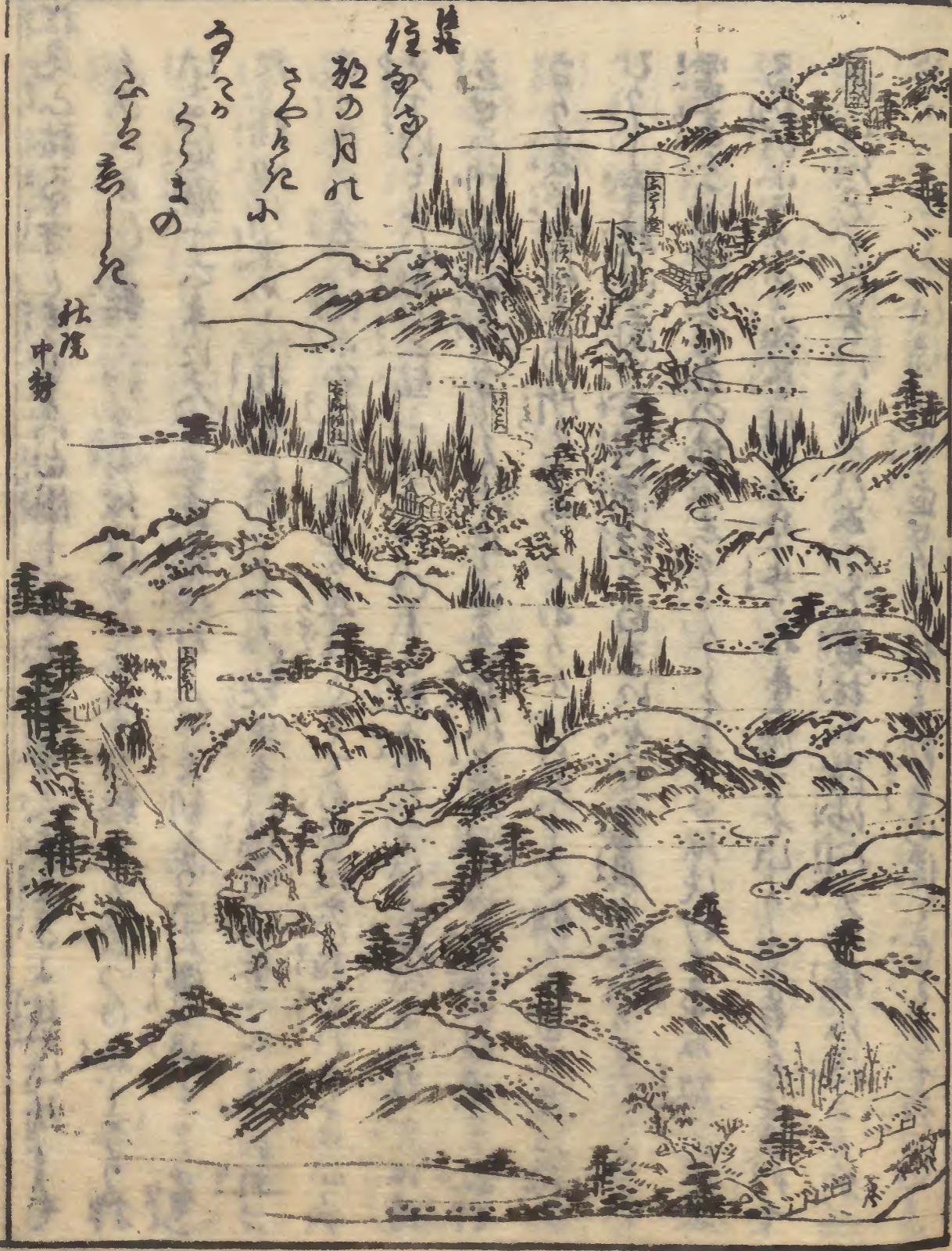
西行

長谷八塩園ハ惟仁親王の御傍ニ有リ所ニ長谷花園中村ニ郷
の氏神アリて祭ハ八月十五日社樂ニ基アリ

詠詠谷ハ大納言公任卿の幽居ノ所ニ有リ所ハ長谷川
を傍テ水のこころ山の中に有リて西の町と云リ云ハ成道寺
解脱寺と云ハ此地あり今ハ礎石の跡あり云ハ公任卿
出家ノ所と云ハ是れ一町と云リ云ハ平地あり
彼郷ハ所ニ任リハ和漢詠詠集ハ撰トクハ一と云リ又
所所谷と云リ

世をそむく長谷りゆり中村のともあり
長谷川を八塩の是れ水は谷より流レ出ク長谷村の中
西へあり岩倉夫と云ハあふあふ情状ふるり
花園ハ長谷れあり

鞍馬寺



某

初の月

さくら

の

ふた

社

松尾に鞍る寺と号する白鳳十一年天武初大友皇子は所すて
舟のいひして鞍とけるははあらしうり鞍ると名つけ初しうり
けさの延暦十六年に大中を美藤伴常人の系創りけし人佛小僧と号する
たの勝地を求めて精舎をたしめあむ親世者れ徳を安んせんと志にたり
ある夜の夢に洛山の山にふり息をたして白髪に老翁に逢て曰はく
天下にとくし形に之銘ふはくはのり親をたすしく汝は西の精舎を建
立せし利益を吾るうんをせよ美藤れ名を留しに玉城の徳護を託す
るり夢をて何まの所しとありてありて久しく相り白るに精舎を建
ひし摩騰法蘭の舍利法經と由るに紫世養且小来たりしんを
靈畜なり汝定て夢の地をうんを考るは汝はけするは故に其
るがのしるふは夢中を止りぬ臺佛とせしよりと告るをまけて
其の心入るに夢にたつたをくと叢林小毘沙門天の像を造り別一
宇といふも七は像を安んせりしんも親世の像と名とせりて親ひ

とげさうよとそくあふ其夜の夢に天童をりて曰はく門天は像を造り
親世者と稱し應に親世者と名に天に名に異かれども一祈りて夢を後
預ひ今にえりて物あり又一宇坂といふも子も親世と安んせり今
の西に親世も院と号する正月朔の寅の日法人稱泰と号する毘沙門天
十符の福とありて人地をたありて賈人うりの人相れ利隆小虎乃子を
踏る勢と縁とありては日系あり 六月廿日の竹伐といふは新に
人本堂と西の親世堂に集りて一大むりあり青竹坂双方に之をなす
堂の近に方親世を丹波方と号しけし一の院流法を傳へ來に
弟れ夢と合せの竹を三股小きりて堂をとり一の曲切石れり人足り
ほせく走りゆく早と勝とすは來由の性者南約招提寺の靈直信正
けらふ分入れに雄雄の大地のくちました端の傍にまごくとね
わり々れいこの地忽小城たり今一ッ小向いてくふよりし七人を
あくと當ふれ用ふるがく絶するなるもやそて放やまたりそま

本堂は小川の淵水溜りして涌出今にたのむるはまはたのり
 此ふるまゝに星夜きりて塵埃拂ふるに又夜に今く異像をを人衆
 此中に産せしめ流流法力と云ふ新穀一入新法ををありの信人より
 毘沙門天はる夜若のり夜と止むるも信ふも若のり奇妙不世後の事
 多かりた秘してのり夜
 秘明神はくはの氏神ゆして大門のうらみなりをわくこと信天已費命
 一産るり朱雀院の清時天慶年中に勅信ある由本と事する事天子此
 淨眼のうひ世のさうくたこと秘と此社小のけらうるり
何れ
九尺九寸
 なる焼炭本葉漬はけ所は名産する羅布るり今橋世小名なるり
吾れ
 庭たけりうまればのうは橋も折枝おも折ともるり
定れ
 是やこのまんなははらうな後らうまればいふさうなるり
袖中抄云々
 之珠様ハ唐鞍はを珠又似るハ鞍の橋よまらうこと
 僧正谷を
 佐一らみ
 貝ぬく
 僧よ
 町んこ
 具前

六月廿日
 鞍馬の竹伐





貫布祢社の水神圓象女神なり夫伴并護尊軒遇突智と云ふて二股と
其をくんと高麗とそかけい糸述ひやまの丹生社と曰新なり
佳の跡述し〜今と雨と佳ぬ取止る事を約りぬは二社なり

社司ともまき〜のふ糸りてぬらひせ〜はひでふ〜

おん湯田れうほむ〜りせけてせせれ甲勢海との社 加茂平

十載〜の岩波〜水な〜く〜秋の東れ相 佐成

又本 秋風の吹た〜ぬ本船と奉とかけて麻と鳴る也 成時

梶取社の二流の墨れ小にそ船の二乃高居あり其の〜り〜に〜り〜

神代む〜り〜弟の神本船よ〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

足酒屋の本船川の中〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

磐石の本船〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

和泉式部夫の保昌と〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

おん〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

奥ふまたたりと〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

式部その〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

本陰にま〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

子子振神の〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

別式部と〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

晴那と〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

梅花白〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

大悲心〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

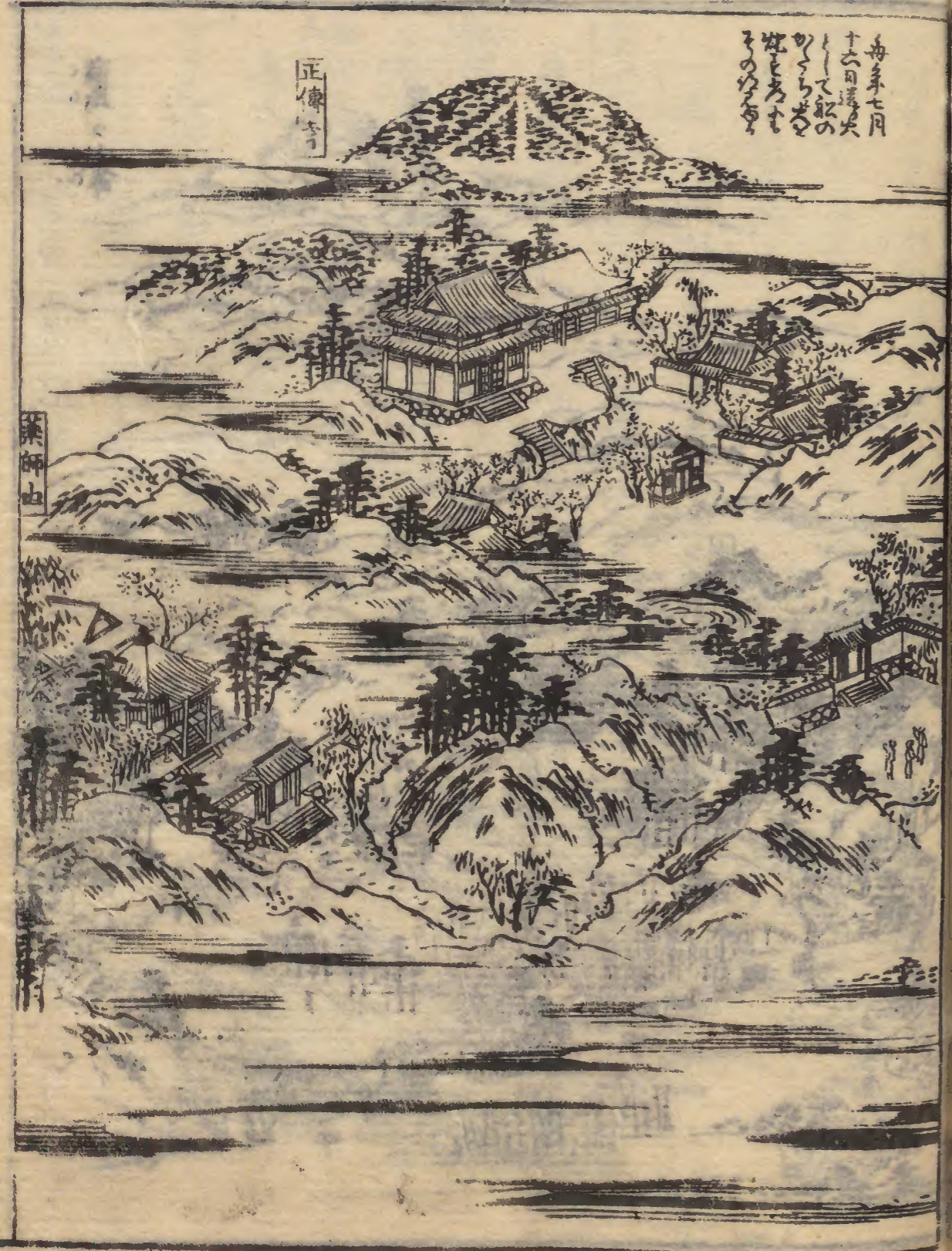
平相と〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜

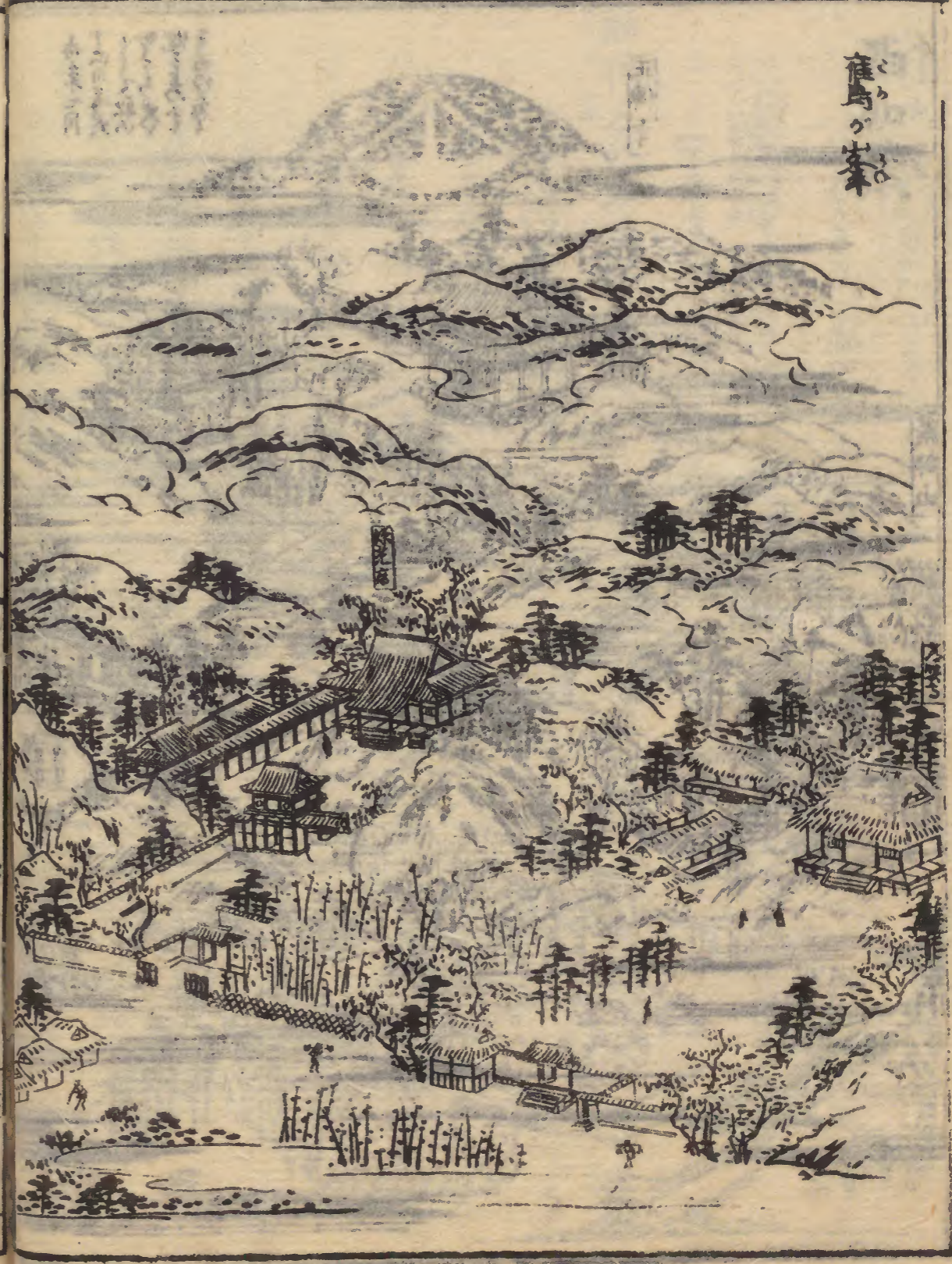
西加茂



毎年七月
十六日遷火
して船の
りてる
遊とある
そのゆゑ

正傳





鷹ヶ峯

大徳寺



龍寶大徳寺の今更のありの因基大徳師之長姉妹の記
と播州揖西の人の父母子ありて後うまると言ふの親世もに
一六の夜母に愛に為るなり又業もあつたなり後あつたなりと
妊り姉妹をいふと骨をいふと眼光のやま異なりて十一歳と云
ふの戒信は師小長久経書と淡九流之彦百家の異道をも家いふと
もそととてく京師相模小ありとあくのる宿小冬同くと後建也の
大徳玉師小福一悟道す一門子とありぬ大徳の延慶元年十二月遷化
のりて姉妹を洛小上り東山のを在るに困居しける夜の爰に僧人
来り出世するしそをいふと京師小入佛敎いたととて法をとりり
とられとてとて又洗心子ま惠法師具外儒者九人一志小福宗と破
らんといふ朝廷不養一議論もくもそ法儒たのくは小福宗も
身子とあり洗心子入室を縁一太徳の方丈と建云門菴と号ありの
花園寺姉妹と先一佛法不思議と佛法對坐し勅められぬ記を
王法不思議と佛法對坐する勅答をいふに後醍醐天皇に
いふく傳く身も投機頑皮表等に托し興禪大燈玉師は號と號と
正灯玉師は号とが場々延之二年五月月廿二日遷化とあり十六
佛敎の教世傳と云ふやて梵天帝教子達摩臨濟の像紙を
門菴小大燈玉師の像あり具外花園院法醍醐院法土師院は林
まいゆ大徳玉師の画像も傍小あり
真珠庵の一体和尚は不修居のひく之真珠庵と一体は深
類あり庭小を承あり和泉式部がまおね保昌の宅地ありといふ
當寺の伽藍六本松園を曰く則祐柱石の抄紙ありて門へま
宗長修造一箇の十利休方丈門の明知光秀寄進ありといふ
ひく之を今又大徳とれやといふ記あり
後古今
福うれとて書紙ありてん小水石といふ寺の原を
法師のひく之を今又大徳とれやといふ記ありといふ
法師のひく之を今又大徳とれやといふ記ありといふ

後古今
法師のひく之を今又大徳とれやといふ記ありといふ
法師のひく之を今又大徳とれやといふ記ありといふ

今宮社

今宮の

のり

ましはるか

この

宮古

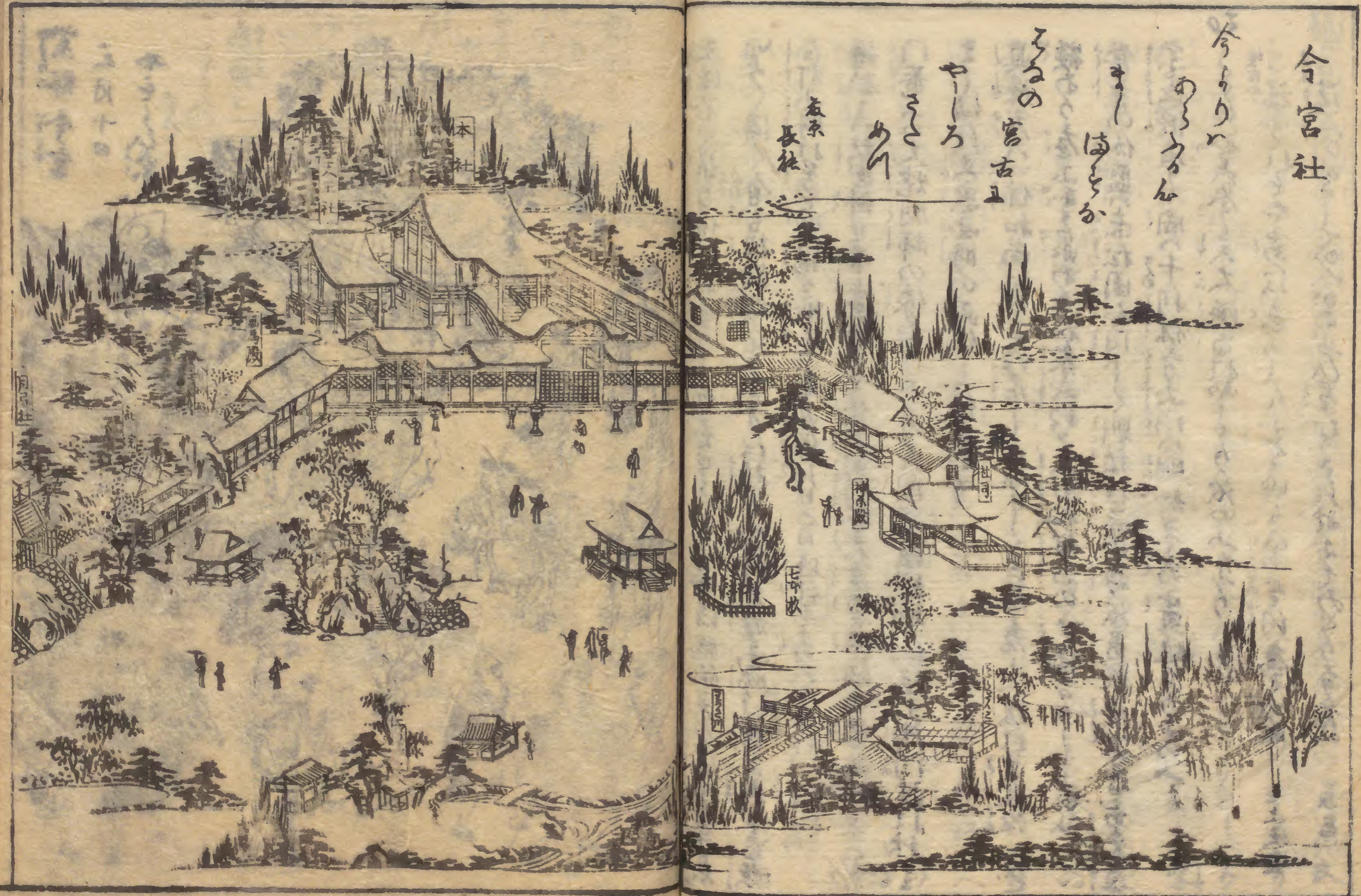
やしろ

ここ

あり

長

社



當所と
 如後乃
 人と社門
 わらうて
 やまひ
 花よと
 としり
 たひれ
 神
 いふめ
 疫癘と
 くる
 まり



茶野今宮
 二月十日
 中しん



今之社に紫野あり瘦れ社と一系院の浄宇正曆六年六月廿七日社圖に定

小海内より河若若ありて長保二年八月九日始りて今之と

あがめらる今ハ牛頭天王と物結して二なるり

白妙れとよみとくくはるりりていついと知りは東のむら

孫は十日に夜頭禮するもそが養上野に軍人馬帽子素禰等のこの徳を

た方とくけ留め飲鉦鼓をあしげ社とくくくをいひたし社とくく

又嘉陽の節にわすれ疫の神を敬志して人々懐く其由社とくく

先を押しりて信とくくくも雄社神護の法事會ふか養命を今に記す

先をいふあを痛くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

とくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

浄惠會ハ八月十日のおの七日の浄出とて能惠の志する浄縁ありて

常盤の宮義経誕生あり今之の東大原居し信ありたる久義朝に別館と

名盤に居るに信とて浄法元年に年ありぬ紙巻してあり

舟園ハ紫野に西あり舟形ハ船とくくくくくくくくくくくくくく

ふに紫野より人細川ふ名れ西陣敷な合戦ありて

新聖のまいりて船ふありたり

拾遺記にわたりれ人とくくくくくくくくくくくくくくくくくく

舟是れ時中ふたたりたる花渡ありありとくくくくくくくくく

雲林院ハ紫野あり淳和帝の離宮あり仁明天皇此所子常康親王

これを傳人領し人具後天曆帝の時僧正遍照を別當り

補せられ堂塔殿あり建られり今ハ雲林院と唱てけりりり

御念くする曰は終ふのそむりハ橋の名所きたを和弁且も

そこの林と海

今を初るそこの林の登いこく空よみくくくくくくくく

人の神のこくもあそんくくくくくくくくくくくくく

浦山ト美の宮人うらむれんそのおくや花とくくくく

舟岡山
雲林院
蓮臺寺



七の社ハ舟園の南ふあり當社の深殿の后社祈禱ふなり二堂の
の表日明神社初詣すしほをく其後保勢不清水指高加茂
松尾平野保なり七社社と号を又一説小法北山七社あり
因陀小畑拍野蓮登社上座平野の中ふあり社あり
あついでしを諸禰ありそのの社あり砂を移せ之堂此状派
う川とあり春日經向の標れ本も北地あり

今宮北津藤所の雲林院の巽ふあり毎歳五月七日奉社より社樂
遷座ありらんを茶店新をつつて芝居紋下師奉ら初ら乃者
後仁徳十八日社樂ありし中を後しなるいん方なり

上品蓮臺寺千本通の山頭ふあり開基聖徳太子なり其後
僧正觀空位職して志言宗とありし奉尊地藏菩薩ハ
聖徳太子の所化なり又弘法大師自化れ像依安並凡寛平
上皇い所ふおめを密權と稟め入る

元亨釋書

金山天王寺北野社東の門通ふあり天台宗ありて奉尊如意輪觀音
ハ聖徳太子の位あり 俗陽觀音巡の 開基ハ聖徳太子と則自化乃

像依安並凡太子堂の額ハ釋迦如來轉毫光所上宮太子降臨
中心と書して小松院の震轉なり

紅梅殿ハ天王寺のふにありある所官社の愛ハハ飛梅ハ靈神なり
清和院ハ七本松通一条の山あり真言宗ありて聖觀音地藏菩薩

の二尊依安並凡原を系極通春日山あり今清和院佛門と號
明曆年中ふ北地に移と

具足山立本寺ハ日通正親町北西あり法華宗ありて日像一人殿
基ハ祖師堂ハ安並凡日蓮上人の像と由影とつて初め松永ハ

れ男石湯門佐久道侍佐々木康次と入者出陣の時中ふ懐めて
曹經像ハ中ふ藏心溢人ハハ依集んとするハ磐石け如くハハ惶

次ハ懐懐して當宗門と依ハ尊像より仕て終依遂なる

七野社



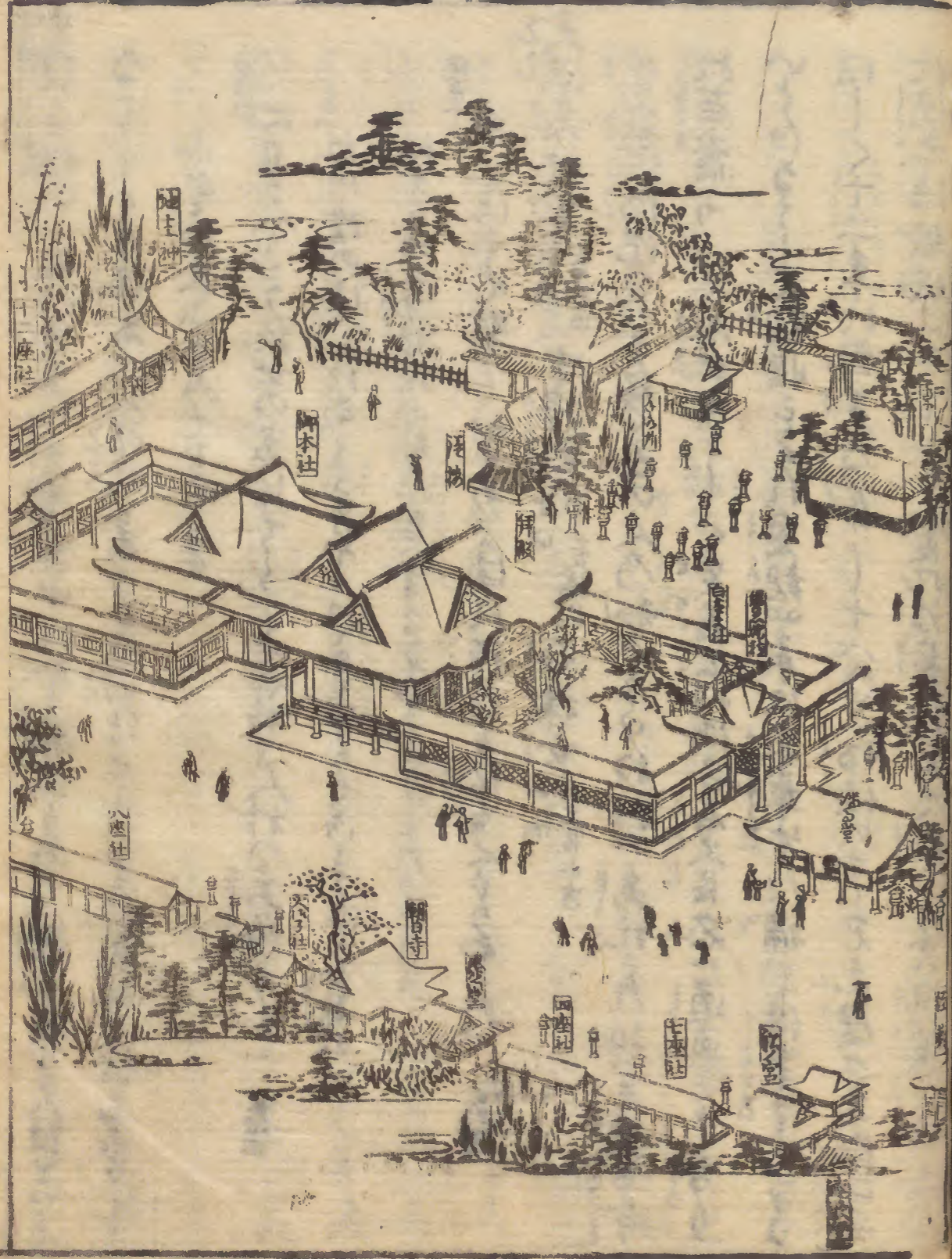
千本焔魔堂の蓮皇寺の南ふあり引接寺と号し宗旨の真言の
 本尊ハ焔魔大王にして法指定期の他當寺ハ同墨へ正覺
 律師と鐘れ後ふあり大念佛ハ文永年中に如輪上人と
 りのりけ寺れ橋ふ普賢像といふあり弘生ハ此花盛りとて
 程をそとむる之一説ふむろし望乃窟此日藏上人眞土り
 いりりゆハ帝いまして上人小向ひて宣入申ハ我皇の素
 因縁ハ一て今法まいたるりてをそとむるは安徳公の素
 為ふふ奉の奉土は後供養とて一昔れ分と添のふ
 いふさく捺痕の底ふ入ぬとい利利も首たもつさりなり
 日藏肝は袖小あまろ哀悔とて人の哀なりけ首は奏國とて舟墨のふ
 千奉れ奉土は後建當寺と遠まといのりて海中とてい供養とて
 大報恩寺ハ引接寺の西ふあり千奉報恩寺といふ奉る報恩佛ハ安徳公
 の能く宗旨ま言ふとて同墨求法上人と

法二月は道教後の法舎あり
 世人の信じてとていふなり



轉法輪寺

北野天満宮



小野の王城の山西の方より天曆年中に...

小野のまふよみせりたり

白河院の湯たれたあさりかたれり...

ゆかりの唐鏡は小野の宮へ...

天満天神宮 中將殿 菅原子 吉祥女...

菅原の徳元いあさりゆき世の人乃...

此苗裔よりて歴世よりく足着...

いしけるらして頼悟とくし貞観四年...

同く十二年に對策乃第一十八...

此使者信願鑑ふあさりく右大臣...

似たりたりとや仁和年中に...

九月廿右祥院あて又十賀と修...

大納言の昌泰二年二月右大臣...

朝臣時まともの上の勅とら天子...

従も聰明の位ははれり一日朱雀院...

のひかりの右大臣奉高く賢く...

さす入た大臣大みくともり妹の...

遂み昌泰四年二月廿日大宰権師...

三年二月廿日配訪みて堯のい安樂...

菅原あてまよくれるありしへ延長...

りし正二位と稱りて天慶三年七月...

清元宣ありて小野右近の陽小掾...

託し給ひたる大内的小野に一夜...

とありうに於て朝日寺の僧最珍右京に父子等と力を合せ靈福を修り
 天徳三年石大長師痛るはも神威をうやましむ龜々あり大慶であつたなりと
 するの今これ小野宮足之一系院の御宇正暦四年八月に勅使を奉府に安
 楽小野宮に大政を長正位を贈りぬり 末社小野宮の宮に六段に松乃
 松よりい初小神祀ははてあつたりや 巳上
 二月廿二日の祭禮の所供は神事あり七月廿二日の祭はみよと奉務人四
 段に入神寶中干あり九月四日當社の祭あり
 系向觀音の三明塔は西側小あり奉務の松楸の二材ははく管神流あり
 きご年をの十一面觀世音あり
 預成就寺の系向松の埤小あり奉務の松也多寶佛は二層ありい寺と
 足利將軍義満公の名氏清と因時小於と合我あり義海討捕ありして
 氏清の首級降り氏清の妻の勇まると人其追悼れたれと道場松
 建一乃部のぬ典と漢海一のいたり政に任王堂ともい

平野社小野宮より乾みあり系とる神四層あり源平高勝大はは四姓乃
 氏神あり一今木神 日本武尊 牙二久度神 仲良天皇 牙三古崩神 仁徳天皇
 牙四比味神 天照右孫
 縣社に天穗日命 中末清承 四姓は氏神あり登しりい桓武天皇延暦年
 中に建立せり清くくわん正位清和天皇貞觀六年七月十日小野宮に
 牙神を例祭に九月上の申れ日あり
 拾遺 生まげまらり 系れあや松よまはは東よまのまらなく 元輔
 難波はよまをよりせりむるねやまを松小うけり白鳥 家隆
 ちりやろるまを松もくくをいね候妻のたれさうりめ 上人
 紙屋川といひむりけ川のやりりあて紙をすね高あり
 大嘗會の所は是見川の極よ平野の橋よりわしやとわらふとまら見
 川の紙屋川の別名あり久に和川ともいひり仁和寺廢大りて赤の
 紙屋川のそりまを院をまらく造つてけわらうりいんは

平野社

新本殿

ちんちん

平野の

松も

久人

あはれ

花候

是れ

多め

あり

免

上人

去り



金閣寺



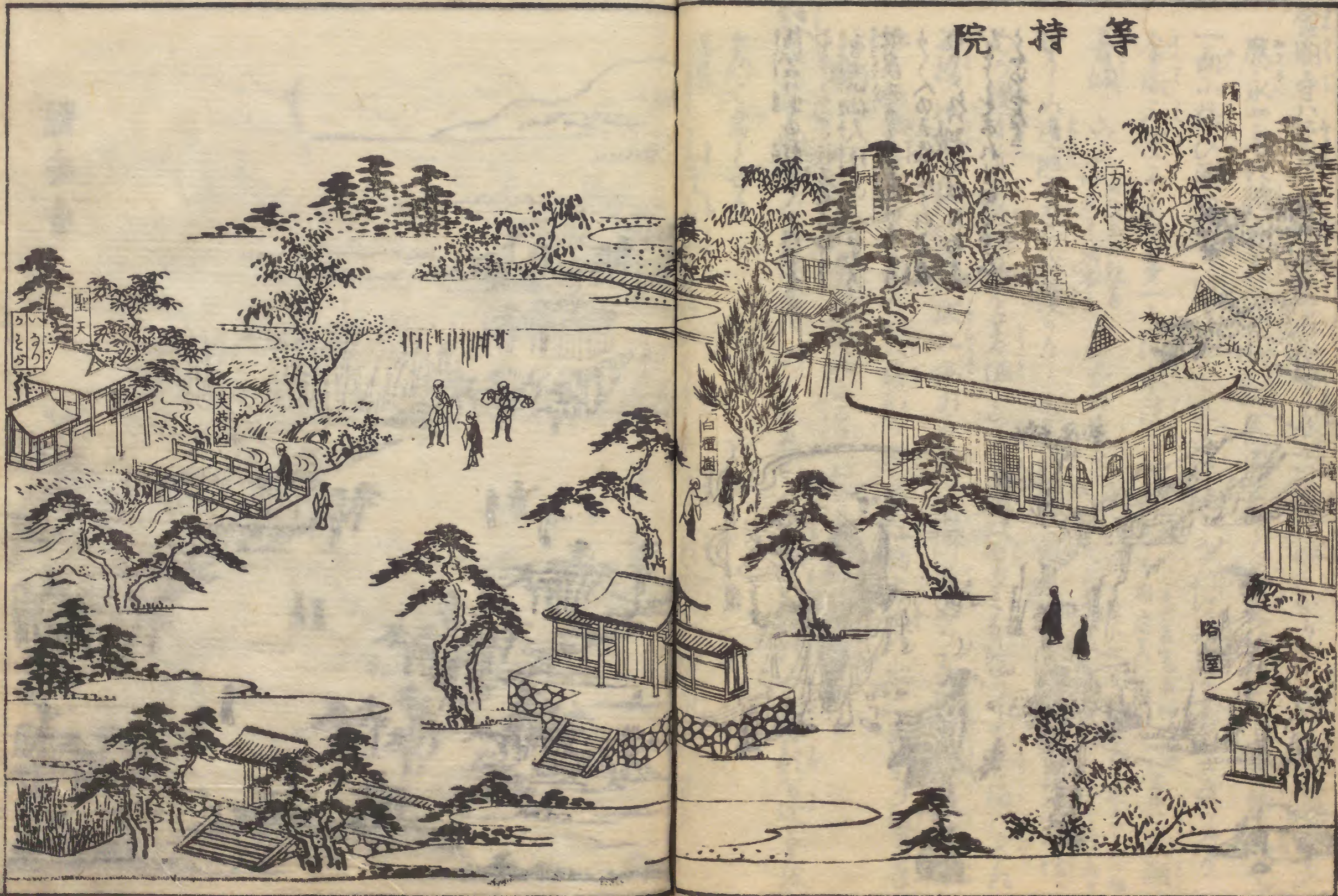
金剛寺（鹿苑寺）の平野に乾衣堂とのぬりゆりあり禪宗よりして鹿苑寺といふ
 應永四年に將軍義満公（鹿苑院）高閣とたき花菱池はくし金鉤とて
 一面小ぢい園のすゝ心なきして九十八海とるけけつるまゐるさぬあり
 金剛之重みし七第一を法水院といふ（鹿苑院敷道義の像あり）身二（花潮）
 青洞（自然木の記あり）身三（花潮）身四（花潮）身五（花潮）身六（花潮）身七（花潮）
 ひり境地とるつと度りりしり熟門（紙屋川の西今の地蔵院の傍）
 あり礎合みあり所を芳徳といふ金剛北廻りふはありて芳徳れるん
 互橋（紙屋川）と比れぬに拱山橋あり巽に小浄堂あり東に地藏堂（教体）其
 地を地藏寺といふ其小大塔あり本尊弥勒方丈（小）一層の（龍目）
 と號しぬ小方（花）記け地ふとくはるるなり
 銘石（金剛寺）紙屋川の久みあり石面を晶れおしく乾とてとら
 りて名とせり

（鹿苑寺）
（鹿苑院敷道義の像あり）
（教体）
（龍目）
（鹿苑寺）

鏡石の物の類よくうりて
 而してつらる怪石形あり
 唐土小仙人（鏡石）の石あり
 形度不みして石面皴こり
 うへ人の五（鏡石）の石あり
 あらいたけ其形あり
 りてとまわりのとら
 とらとら



院持等



龍安寺



等持院の衣笠山に藤あり

同基の養憲四師ありて足利尊氏公に建てるありしうへにわさる
一院として奉尊の地蔵菩薩大聖歡喜天の堂鎮守六請明社等
今に在りしとてつひの遺跡あり等持院の堅額に相玉義備の字
足利家累代に昭堂の養照院義政公のつとめしあり禮果の額に
同山養憲の字あり

衣笠山の等持院のうへありしあり仁治年中に内大臣藤原家良公
別荘と建ゆし衣笠内大臣とていひ置あり

新六帖
このころのさる郡のいれ井家宿の之内に藤ありたり
給掛ふしうへいむう寛平法皇清室に於てある五月のを天又海
香に眺み好むしひけ筆に白た海にのりてままをれりたさる也
かふといひ侍人

小松内大臣重盛小山草將の地衣笠山の赤き藤あり
之をいひ養安寺の等持院に西あり

同基の養天和尚文明年中に細川右京大夫勝えりてさるしあり
初に衣笠山實能公の山荘あり徳大寺公者公の代細川勝えり地とて
侍られしより奉尊の釈迦佛大元達磨の像東西に壇あり惠光様
像細川勝えの像養安の堂の四天王の画に東福寺北殿司に奉尊
方丈の勝えの館養院とていひしるを奉尊の築山は色の風色に勝えの
物敷ありしに地山の衣笠山に坂あり遠小園に一陽來復より温
氣ゆるる早し池に面ふに水もむれありまき冬の眺みさる也と
養安寺に奉尊とて名ふあり

真如寺の衣笠の巽松原村の西あり
同基の養憲五師奉尊の釈迦佛仏光四師像壇下の安に達磨佛に
養憲の二經ふれ振壇の安に初に養著尼といふ人ありて居て正徳
といふ康永年中に高武藏守師連修造とていひあり



雙岡



松のまわ
まゝいれ
巻の
禁さ
乃
月も
新
入道一平
十七

正法心母寺の法安の南木辻の西小あり圃といふ圃に圃師信州の令有り
一と七洛小あり大燈園師小あり七夜神園小あり一夕園小あり此園の字後
會海を大燈とて之を圃師來りてとて之を圃とて號と後醍醐帝乃
回小を名有りとも尊有はるる其後花園法皇御苑とて圃とて信職と
なりぬ圃法皇も方丈の後小一院といふみ侍せり今も圃玉圃院といふ
佛殿の本尊釋迦佛左在乘右阿難遠磨臨濟臨壇の神牌花園院後花園院後寺門院
法堂小あり經藏の東にあり玉圃院の西面小唐門あり類ハ法堂に
佛表等あり

心寺十境 和漢釋刺次書出

- | | | | | |
|-----|------|-----|------------|------|
| 萬歲山 | 仁和寺山 | 百花洞 | 玉圃院内 | 高安灘 |
| 麒麟閣 | 玉圃院内 | 宇多川 | 妙心寺の
東流 | 齊宮杜 |
| 度香橋 | 南門前 | 鶴足嶺 | 小山 | 南華塔 |
| | | | | 東寺塔 |
| | | | | 舊藉田 |
| | | | | 妙心寺日 |

雙園の妙心寺の西あり二三圃相並有り

一と七洛小あり大燈園師小あり七夜神園小あり一夕園小あり此園の字後
會海を大燈とて之を圃師來りてとて之を圃とて號と後醍醐帝乃
回小を名有りとも尊有はるる其後花園法皇御苑とて圃とて信職と
なりぬ圃法皇も方丈の後小一院といふみ侍せり今も圃玉圃院といふ
佛殿の本尊釋迦佛左在乘右阿難遠磨臨濟臨壇の神牌花園院後花園院後寺門院
法堂小あり經藏の東にあり玉圃院の西面小唐門あり類ハ法堂に
佛表等あり

法金剛院あり此の西小ありむろ清原真人友野此別荘之真子とて此
法雄公もさるる此の西小ありむろ清原真人友野此別荘之真子とて此
とるむく己上荒廢に及ぶの所大治年中に待賢門院再興ありて號と
法令別院とありて此宗有の四宗兼宗中真の園是上人あり
本寺の阿彌陀如來 土之像春日作とて

西光庵の双池の上小あり法土宗ありて向阿上人園基あり



洞花
九まに
大回ふ乃
橋あり



洞花
九まに
大回ふ乃
橋あり



淨室淨所伽藍

同来枕山
 八十八ヶ所
 明神の湯



毎来二月十五日九日
 八十八番室遠印
 十月十三日六十
 十一月十日六十
 十二月十日六十

法名と納めんとて
 心門あふ又いふ
 弟物へ任すま
 納りてまわり

走當山も佳境なり生有り櫻樹多く峰小山嶽近きところ
は小山崩けげり枝葉のまきとあつちう梢高く千屈曲なり
境なき如く故小鉢生の花甚う都郡のき妙庭客春の湯に
争い己が種を慕ひひと雲を慮松が酒小伏し中白う眼ハキ縄
とゆき西苑の白目と燈と得んといふ表色の風も花を愛く日茂
情いと月と輪なりを後小鉢山の林縁より一雲余のわたりは因
良場遠洋のより八十八所と追奉亦再建ある本末支々の神年
も大脚山安垂りり加え金剛界持法界の種字一石一つと
宮は四方の廻り小建らまもいけい山内を別あ初の曼荼羅界と
り入その内小八十八ヶの小堂と巡洋まじりけ功徳を以て二を安ふの
結縁さうめ結え亦志於とやまことと名の人々信者うとに
あふともあ清観し其景を一方うづりて西洋の山をきや後系
種も種下目と欽りりうま小鉢地とらうとらう

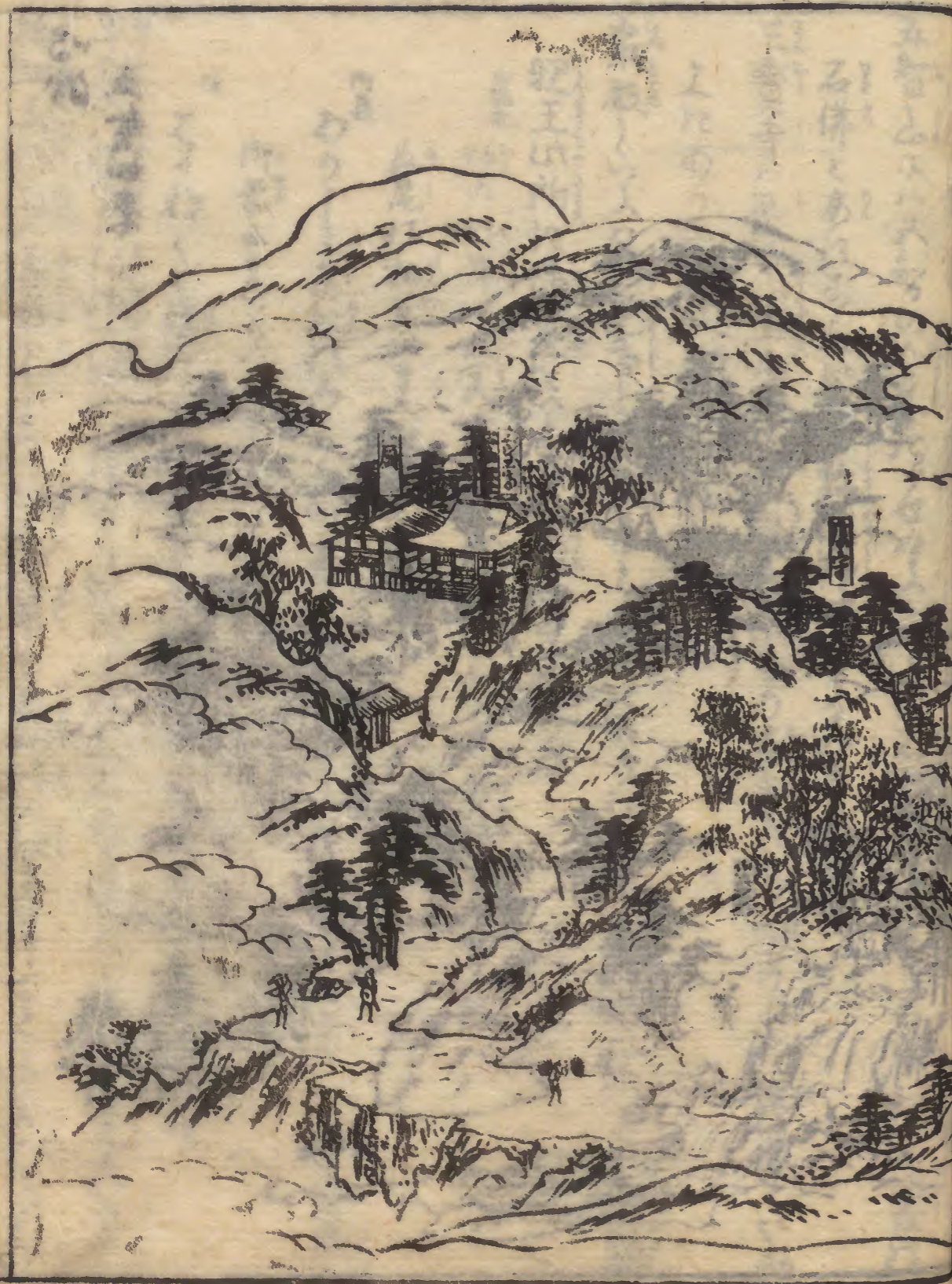
鳴沙仁和寺の西小ありは所破れ急流あり

山家 志とくさそんあつみせうれたれとてい泪やう流乃川 西行

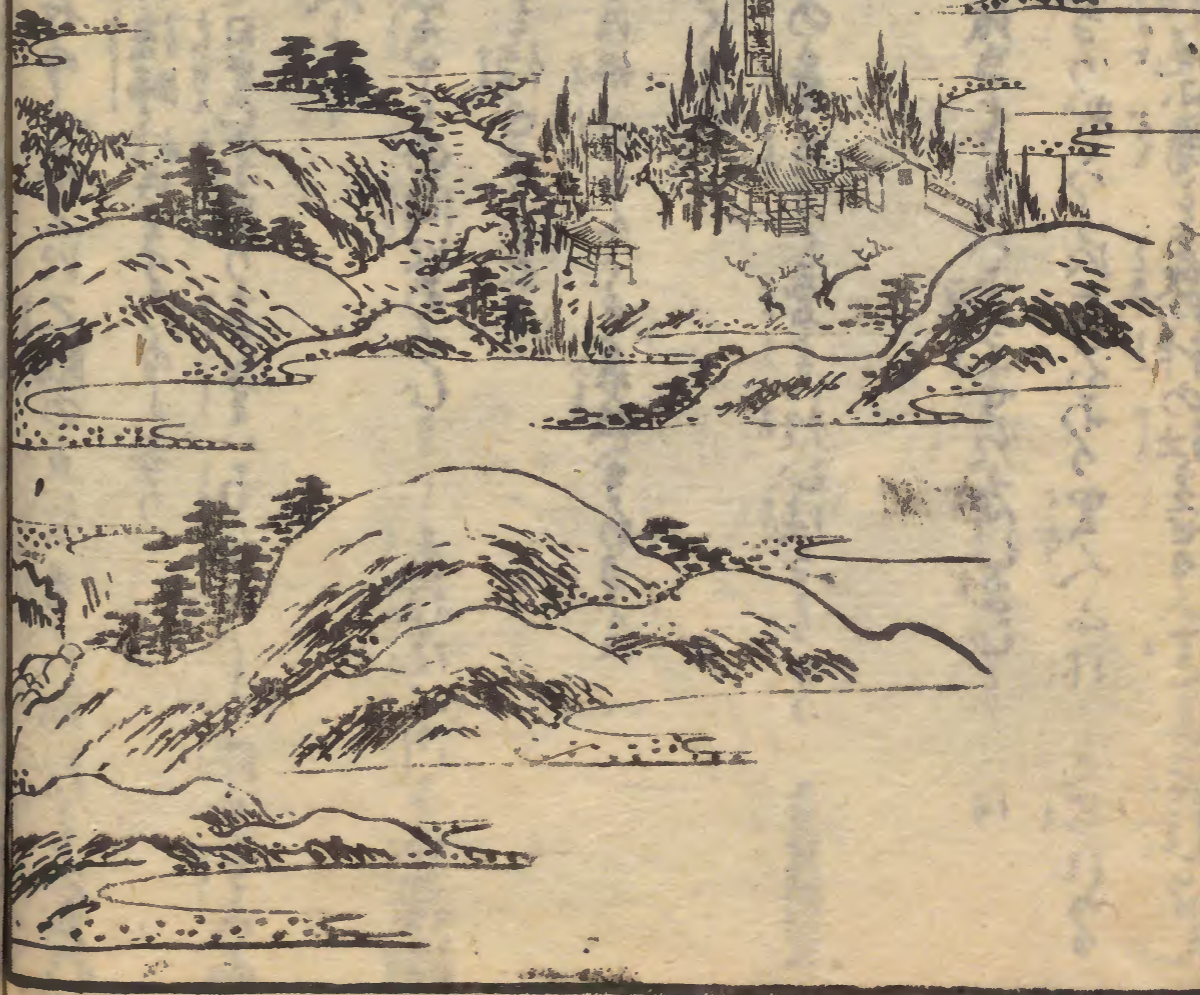
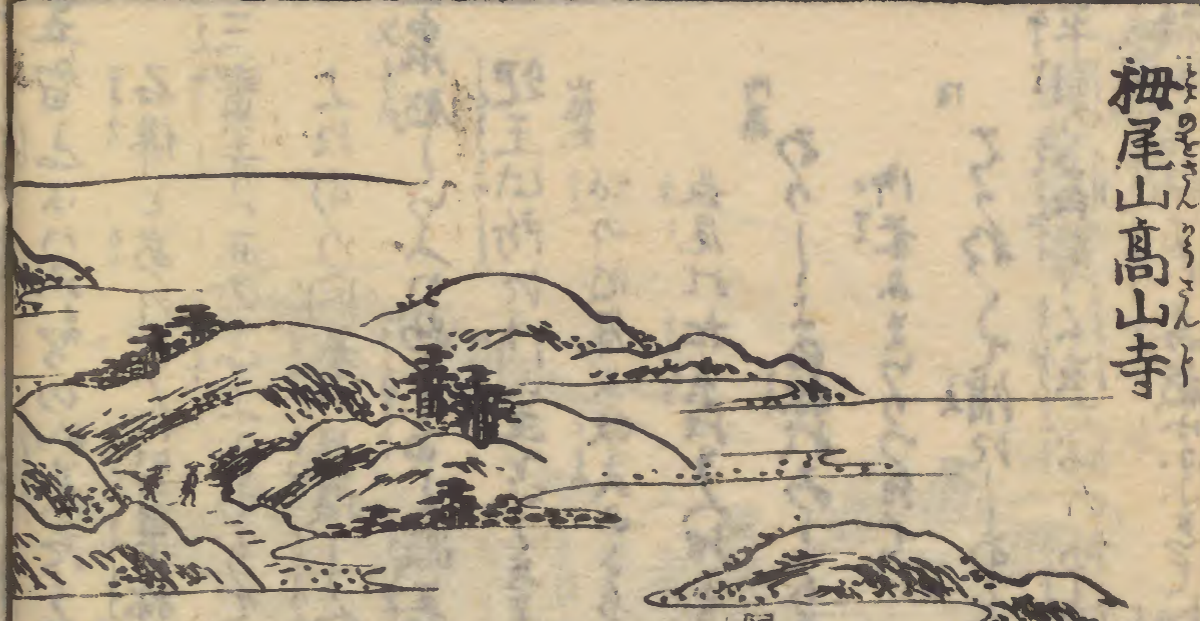
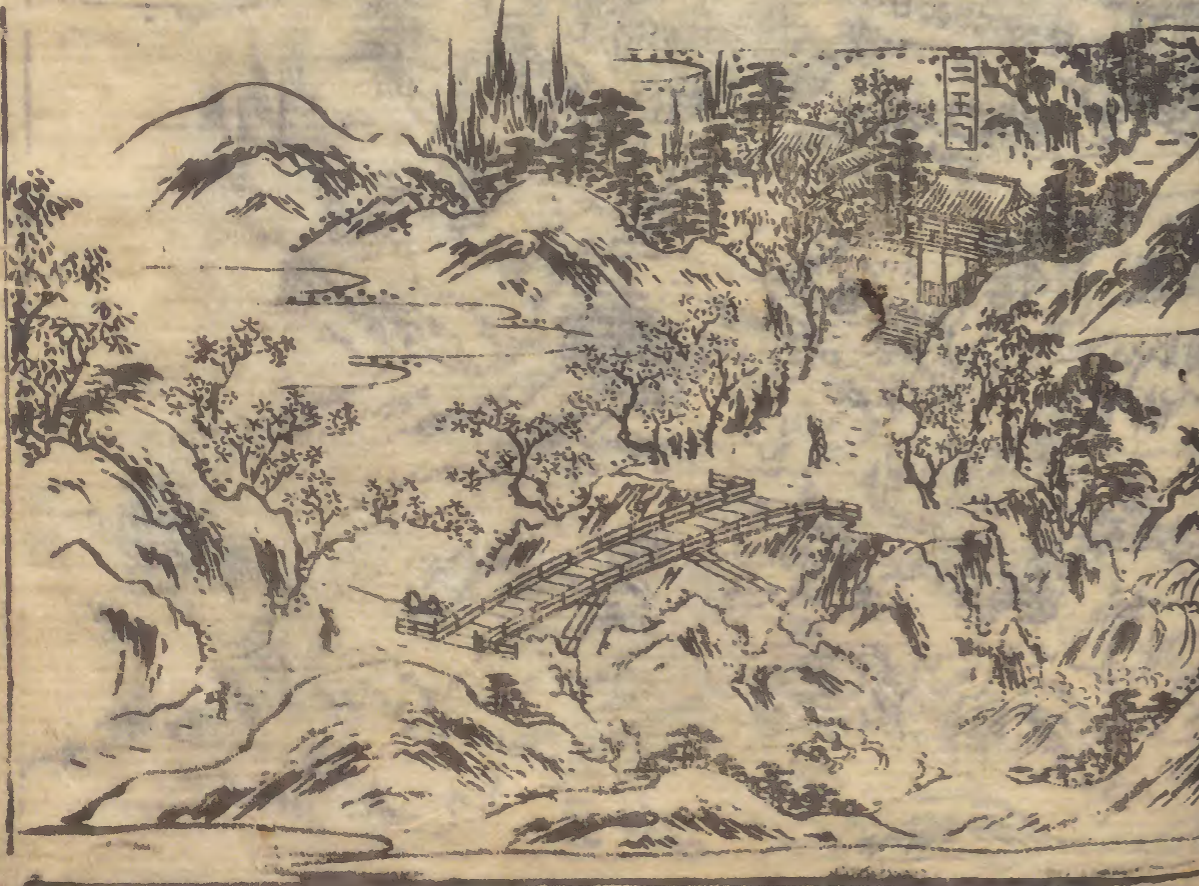
妙光寺へ鳴沙の里れ小にあり神の因大臣藤師謎の長男右少將忠奉
追福のため小に別業派寺とあり妙光禪寺と号と開基を法燈
圓師あり本寺の釋迦佛と安と寶陀圖の額ハ本寺の尚の者之業
基の回地うしらの山上にさる印金堂ハ堂内北四方敷本を印
當所の莊観さくにとりまう
泉石の法藏寺ハ英葉宗派ありて百拙和尚の開基ありは所西の寺と
いふ津土ふも本寺阿弥陀如来の恵を僧おれけりり人あり
五層ふふ般若寺あり開基ハ觀賢傍正本願ハ大に玉剛朝長あり
宗者ハ真言古義ありて本尊ハ文殊菩薩阿弥陀堂ハ法藏觀
勢至の之をくせり觀賢僧正の産禪ハいふのさるふあり開基ハ
堂れうしるにあり



泉谷西野寺
妙光寺
法藏寺

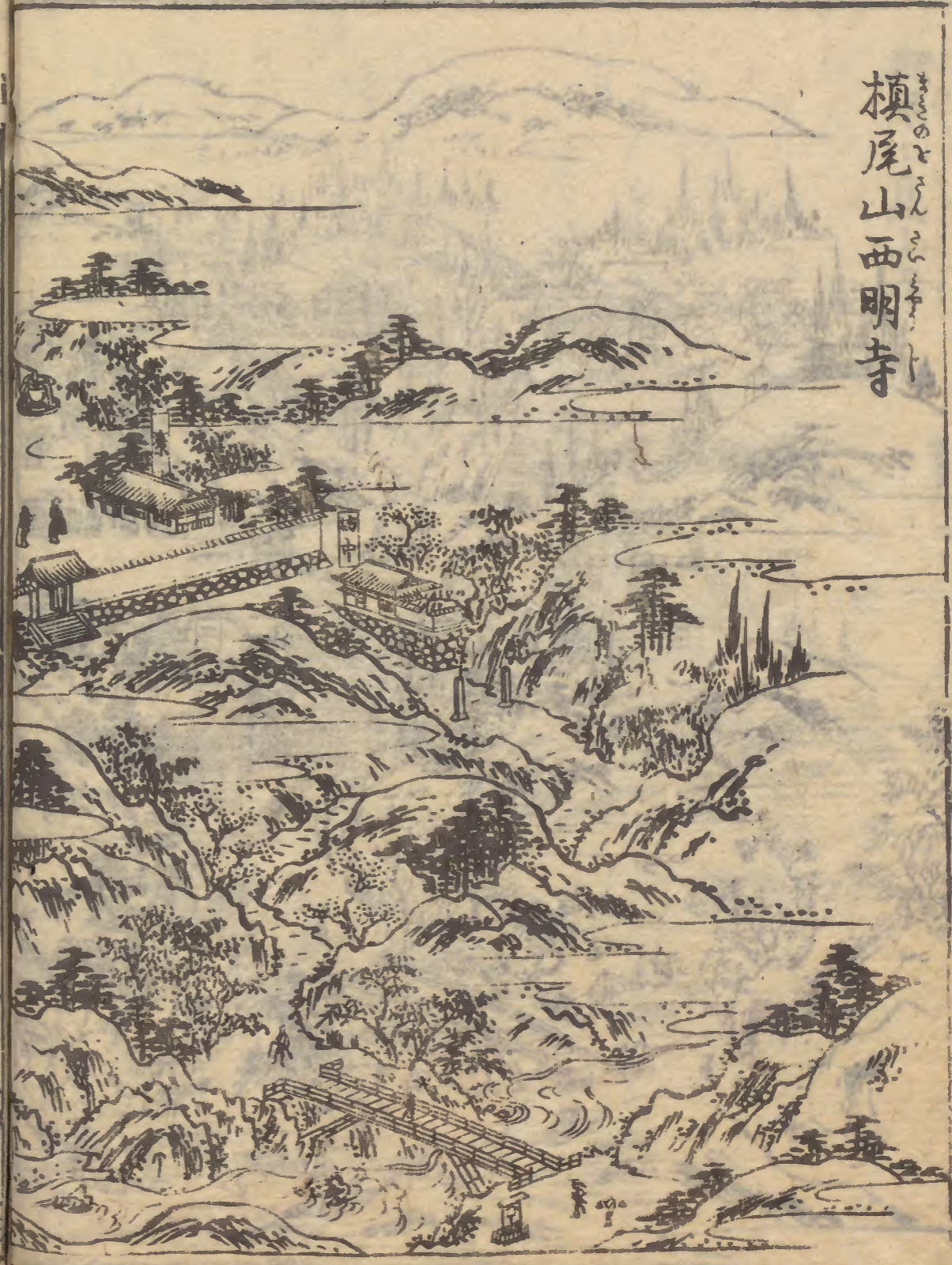


三般
野村
寺



柵尾山高山寺

模尾山西明寺



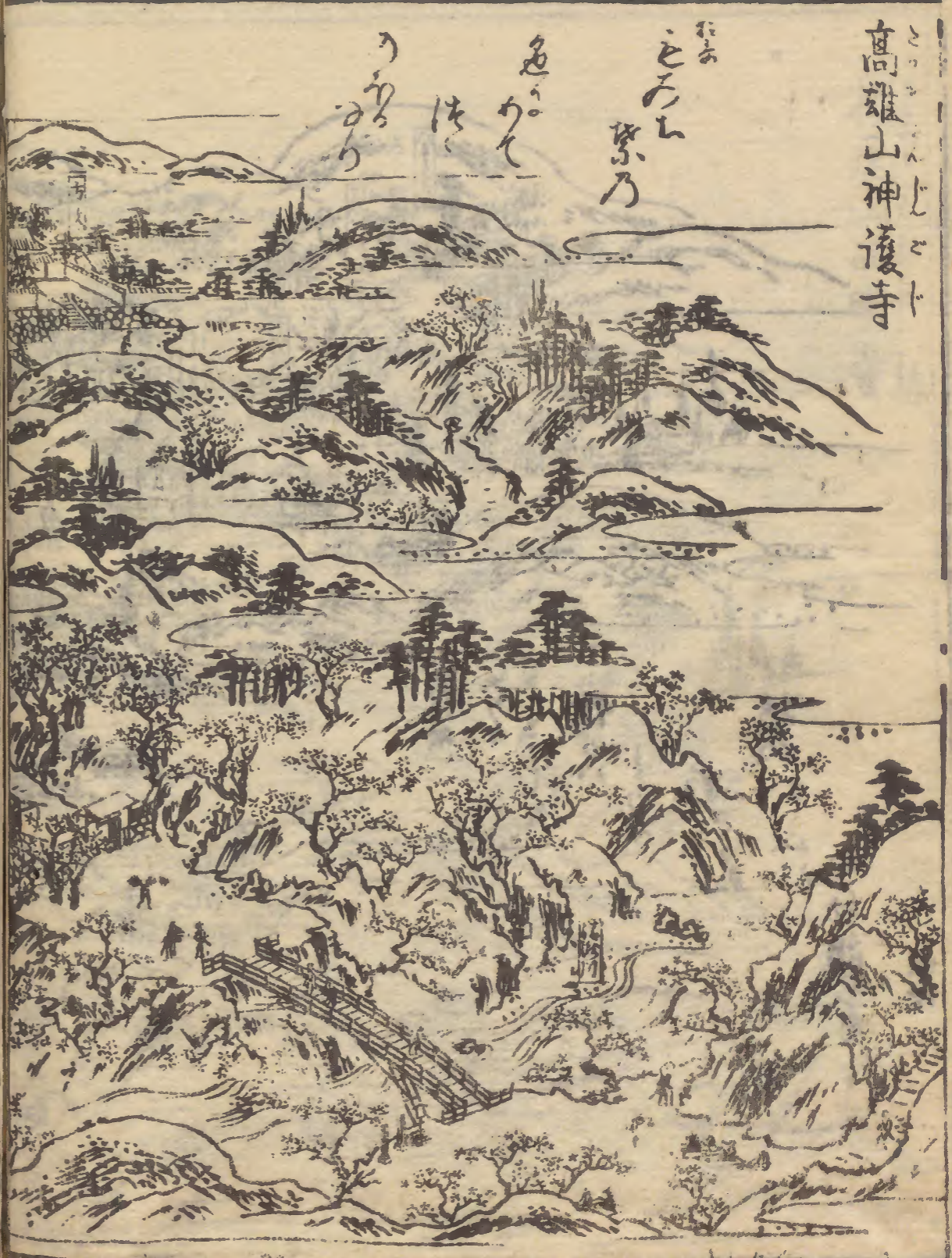
新法橋
くろ
みとも
飛つ六
らん
花さる
花のかみ
あけ湖のき

和經

高嶺山神護寺

高嶺山
神護寺

う
みり
は
か
た



の
戸
れ
る
雄
も
雄
も

浪
速
國
九

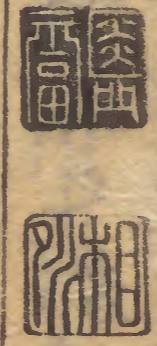
欽定四庫全書

古今遷建曰帝都天子之居天子以四海為家豈有常處哉惟其所在即以為都都者人之所都會云爾以衆大而言謂之京都周公相成王都洛邑諸侯藩屏四方朝明堂後漢李唐亦都洛陽倣

本朝聖主之例以京師稱洛陽與抑平安者天下之中而有德無窮之都也從長固之遷都已來歷千載而賢聖在位景星見於天由是庶民浴泰平之化時遍覽四方山川之勝裁配畫工信繁令摸之還尋昔人之經蹟詳記其由緣全之名曰都名所圖會嗚呼聆左思

之博才蜀都賦歷年所况予撰不涉年
寡聞淺識何寧其耻後君子正遺漏
俟澡洗而已季秋十三夜於斑竹亭書
昔安永九年也

選者 平安秋里湘夕



大德...

